

第26回科学者委員会議事要旨（メール審議）

1 議決日 平成25年8月5日（月）

2 審議内容

提案1 シンポジウム「学協会の新公益法人法への対応の
現状と展望」について

（10月22日（火）、日本学術会議講堂で開催、別添資料）

3 結果

提案1について原案のとおり承認され、幹事会に提案されることとなった。

公開シンポジウム「学協会の新公益法人法への対応の現状と展望」について

目的：新公益法人法に基づく新法人への移行受付期間が平成25年11月30日に終了することを踏まえ、本分科会が学協会に実施したアンケート調査結果に基づいて、学協会の新公益法人法への対応の現状を明らかにする。また、公益法人を選択することのメリットとデメリット、任意団体が法人格を持つことのメリットなど今後の対応方法についても議論する。

主催：日本学術会議科学者委員会「学協会の機能強化検討等分科会」

日時：平成25年10月22日（火） 13時から16時35分

プログラム：司会 前半 分科会幹事 福田裕穂、後半 分科会幹事 花本啓祐
13：00～13：10 開会挨拶
科学者委員会 委員長 小林 良彰
13：10～13：40 「学協会の法人化の現状」
公益法人協会 理事長 太田 達男
13：40～14：00 「学協会の機能強化検討等分科会が行ったアンケート調査の報告」
分科会 委員長 石原 宏
14：00～14：20 「公益社団法人を選択した中規模学会の現状」
公益社団法人 環境科学会 会長 細田 衛士
14：20～14：40 「一般社団法人を選択した小規模学会の現状」
一般社団法人 日本ミトコンドリア学会 理事長 太田 成男
14：40～14：55 休憩
14：55～15：15 「公益法人・一般法人制度と小規模学会」
法学委員会 副委員長 小幡 純子
15：15～15：30 「学会連合体による対応」
第一部 部長 佐藤 学
15：30～15：45 「移行期間終了後に想定される諸問題」
分科会 元副委員長 池田 駿介
15：45～16：05 「学協会法人化の今後の展望」
公益等認定委員会 委員 恵 小百合
16：05～16：35 質疑応答
16：35～16：40 閉会挨拶
分科会 副委員長 田中 耕司